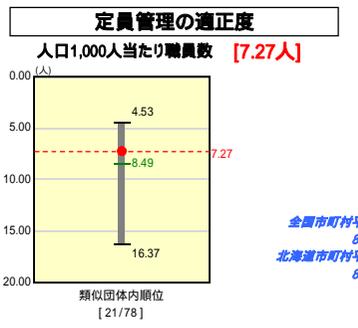
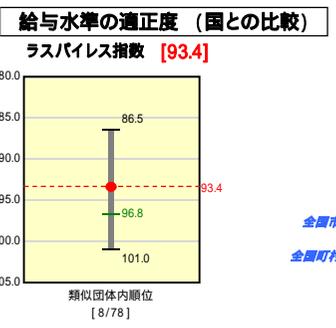
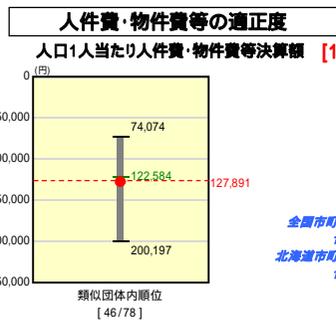
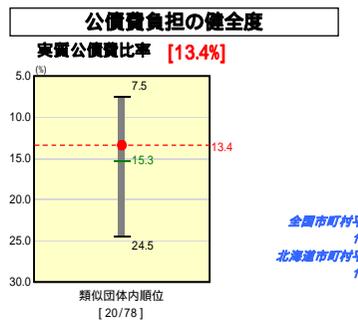
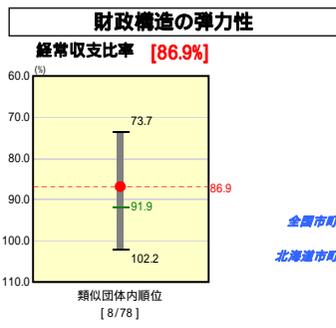
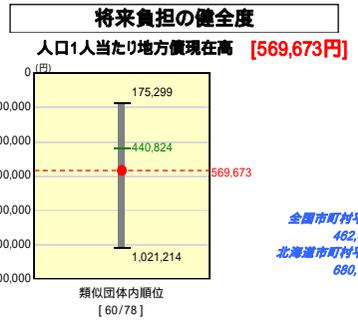
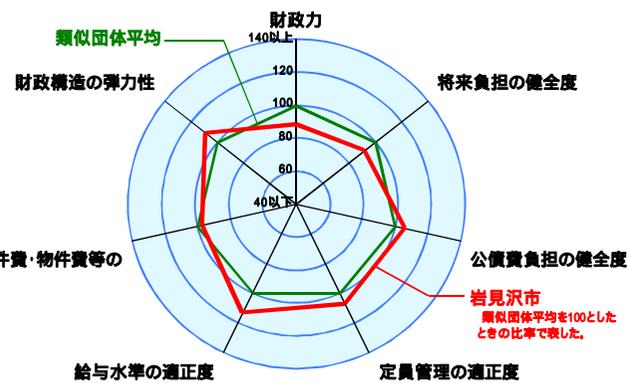
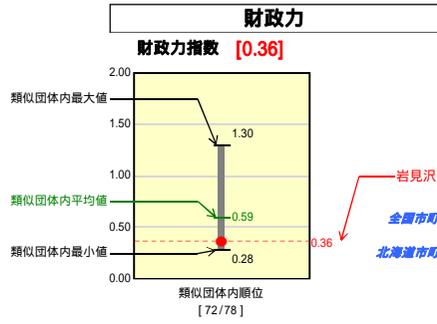


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

北海道 岩見沢市

人口	93,570 人(H18.3.31現在)
面積	481.10 km ²
歳入総額	46,357,569 千円
歳出総額	45,556,863 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数:長引く景気の低迷による市税の減収などにより、類似団体平均を下回っている状況にある。更に、平成18年3月27日の市町村合併により、平成17年度は合算のため前年の0.41から低下している。今後は、集中改革プランに基づいた定員管理の適正化(5年間で114人、8.4%削減)等により、財政基盤の強化に努める。

経常収支比率:類似団体平均値を下回っているが、市税及び交付税の減収等により、比率は年々悪化している(対前年度比2.0ポイント上昇)。集中改革プランに基づいた定員管理の適正化を始めとした義務的経費の削減に努め、改善を図る。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:類似団体平均に比べて高くなっている要因は、主に維持補修費が要因となっている。これは、除排雪経費(約8億5千万円)及び老朽化した施設の修繕費用の増加によるものである。今後は、合併後の施設の適正配置及び計画的な改修・修繕を行い、抑制に努める。

ラスパイレス指数:平成8年度から100を割り、以降減少を続け、類似団体平均と比較して大きく下回り続けている。平成18年3月27日の市町村合併により93.0から0.4ポイントの増はあったものの、今後も高齢給与者の退職等の要因による指数の減が見込まれるほか、より一層の給与の適正化に努める。

人口1人当たり地方債現在高:平成16年度実施の最終処分場造成事業(起債発行額8億9千万円)等により、類似団体平均を上回っているが、残高についてはピークを過ぎており(対前年度比3億円減)、今後は平均水準となるよう努める。

実質公債費比率:過去からの大型投資事業の適切な取捨選択により、類似団体平均を下回っているが、近年の推移を見ると増加傾向にあり、今後5年間は引き続き増加が見込まれるが、的確な事業選択により、借入の抑制を図る。

人口1,000人当たり職員数:新規採用職員数の抑制等により、類似団体平均を下回っている。今後は指定管理者制度や民間委託等を積極的に進めていくほか、平成18年度を初年度とした集中改革プランによる5年間で総職員数114人(8.4%)の削減を